

東日本大震災 石巻専修大学 報告書

資料編



1 その時、大学は

2 大学の被災状況

3 地震直後からの大学の対応

4 地域社会への貢献

5 各学部・委員会などの対応・動向

6 建物と地盤について

7 震災を振り返って

資料編

報道発表資料
平成23年3月11日16時00分
気象庁

平成23年3月11日14時46分頃の三陸沖の地震について

地震の概要と津波警報等の発表状況

- 発 生 日 時： 3月11日14時46分頃
マグニチュード： 8.4（暫定値）
場所および深さ： 三陸沖(牡鹿半島の東南東、約130km付近)、深さ約10km（速報値）
- 発 震 機 構 等： 西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型（CMT解）
- 震 度： 【最大震度7】宮城県栗原市(クリハラシ)で震度7、宮城県の涌谷町(ワクヤチョウ)、登米市(トメシ)、大崎市(オオサキシ)、名取市(ナトリシ)など、宮城県、福島県、茨城県、栃木県の4県28市町村で震度6強を観測したほか、東北地方を中心に、北海道から九州地方にかけて震度6弱～1を観測しました。
- 津波警報（大津波）： 北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、北海道太平洋沿岸西部、青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県九十九里・外房、伊豆諸島(11日15時33分現在)
- 津波警報（津波）： 北海道日本海沿岸南部、青森県日本海沿岸、陸奥湾、千葉県内房、東京湾内湾、小笠原諸島、相模湾・三浦半島、静岡県、愛知県外海、伊勢・三河湾、三重県南部、淡路島南部、和歌山県、徳島県、愛媛県宇和海沿岸、高知県、大分県豊後水道沿岸、宮崎県、鹿児島県東部、種子島・屋久島地方、奄美諸島・トカラ列島、沖縄本島地方、大東島地方、宮古島・八重山地方(11日15時33分現在)
- 津波注意報： オホーツク海沿岸、大阪府、兵庫県瀬戸内海沿岸、岡山県、香川県、愛媛県瀬戸内海沿岸、有明・八代海、長崎県西方、熊本県天草灘沿岸、大分県瀬戸内海沿岸、鹿児島県西部(11日15時33分現在)

- 津波の観測状況
11日15時34分現在、青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県、千葉県九十九里・外房で津波を観測しています。
・ 最大の高さ：釜石(4.2m)、宮古(4.0m)、大船渡(3.3m)、石巻市鮎川(3.3m)など(15時30分現在)
- 余震活動の状況
強い揺れを伴う多数の余震が観測されています。しばらくはこのような余震活動が続くと考えられます。
- 防災上の留意事項
大変高い津波が観測されています。津波警報を発表している沿岸では、厳重に警戒してください。また、津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで警戒を続けてください。津波注意報を発表している沿岸についても、十分注意してください。非常に強い揺れが広い範囲で観測され、家屋の倒壊などの被害が出ている可能性があります。また、揺れの強かった地域では、土砂災害や家屋の倒壊などの危険性が高まっているおそれがありますので、余震による強い揺れに引き続き警戒してください。
- 緊急地震速報の発表
この地震に対して、地震の検知の8.6秒後、緊急地震速報(警報)を発表しています。
本件に関する問い合わせ先：地震火山部地震津波監視課 03-3211-7952

報道発表資料
平成23年3月11日17時30分
気象庁

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の地震の規模について(第3報)

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の地震を詳細に解析した結果、地震の規模(マグニチュード)を8.4から8.8としました。

本件に関する問い合わせ先：地震火山部 地震津波監視課 03-3284-1743

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」について(第4報)

地震の概要と津波警報等の発表状況

発生日時：3月11日14時46分
マグニチュード：8.8(暫定値)
場所および深さ：三陸沖(牡鹿半島の東南東、約130km付近)、深さ約24km(暫定値)
発震機構等：西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型(CMT解)
震度：【最大震度7】宮城県栗原市(クリハラシ)で震度7、宮城県の涌谷町(ワクヤチョウ)、登米市(トメン)、大崎市(オオサキシ)、名取市(ナトリシ)など、宮城県、福島県、茨城県、栃木県の4県28市町村で震度6強を観測したほか、東北地方を中心に、北海道から九州地方にかけて震度6弱～1を観測しました。

津波警報(大津波)：北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、北海道太平洋沿岸西部、青森県日本海沿岸、青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県九十九里・外房、千葉県内房、伊豆諸島、小笠原諸島、相模湾・三浦半島、静岡県、和歌山県、徳島県(11日16時08分現在)

津波警報(津波)：北海道日本海沿岸南部、陸奥湾、東京湾内湾、愛知県外海、伊勢・三河湾、三重県南部、淡路島南部、愛媛県宇和海沿岸、高知県、大分県瀬戸内海沿岸、大分県豊後水道沿岸、宮崎県、鹿児島県東部、種子島・屋久島地方、奄美諸島・トカラ列島、鹿児島県西部、沖縄本島地方、大東島地方、宮古島・八重山地方(11日16時08分現在)

津波注意報：オホーツク海沿岸、秋田県、山形県、新潟県上中下越、佐渡、富山県、石川県能登、大阪府、兵庫県瀬戸内海沿岸、岡山県、広島県、香川県、愛媛県瀬戸内海沿岸、山口県瀬戸内海沿岸、有明・八代海、長崎県西方、熊本県天草灘沿岸(11日16時08分現在)

- 津波の観測状況
11日18時00分現在、北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、北海道太平洋沿岸西部、青森県日本海沿岸、青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県九十九里・外房、千葉県内房、東京湾内湾、伊豆諸島、小笠原諸島、静岡県、愛知県外海、三重県南部、和歌山県、徳島県、高知県で津波を観測しています。
- 余震活動の状況
強い揺れを伴う多数の余震が観測されています。しばらくはこのような余震活動が続くと考えられます。
- 防災上の留意事項
大変高い津波が観測されています。津波警報を発表している沿岸では、厳重に警戒してください。また、津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで警戒を続けてください。津波注意報を発表している沿岸についても、十分注意してください。非常に強い揺れが広い範囲で観測され、家屋の倒壊などの被害が出ています。また、揺れの強かった地域では、土砂災害や家屋の倒壊などの危険がありますので、余震による強い揺れに引き続き警戒してください。

本件に関する問い合わせ先：地震火山部地震津波監視課 03-3211-7952

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による
地震・津波・火山観測機器の状況について

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による地震・火山観測機器の状況を別紙の通りお知らせします。

1. 地震観測点(別紙1)
モニター可能な観測点のデータにより、震源・マグニチュード計算を行い、津波警報等を発表します。
東北地方を中心とした地域で発生する地震については、緊急地震速報(予報及び警報)を適切に発表できない状態となっています。
2. 震度観測点(別紙2)
入手可能な震度データにより地震情報を発表します。震度が入手できない観測点であっても、震度5弱以上と推定される場合には、地震情報で発表します。
3. 津波観測点(別紙3)
モニター可能な観測点のデータにより津波状況を把握します。
4. 火山観測点(別紙4)
全点障害中の火山については、気象衛星の画像データや気象レーダーにより噴煙の状況を監視します。また、発見者通報情報の収集に努めます。

本件に関する問い合わせ先：気象庁地震火山部管理課 03-3211-8684

171

石巻市における被害の状況（石巻市役所提供）

地震と地震による津波は市の広範囲に甚大な被害をもたらした。

東日本大震災 石巻市における被害の状況

◎地震名:平成23年東北地方太平洋沖地震
(マグニチュード9.0)

災害名:東日本大震災

発災日時:平成23年3月11日(金)午後2時46分頃・本市最大震度:6強
津波到達時間:午後3時26分・津波高:8.6m以上(鮎川検潮所)
地盤沈下:平均78cm(牡鹿半島では120cm)

1. 死者、行方不明者数及び避難者数 (平成24年2月29日)

区分	死者	行方不明者	待機者	待機所数
人数	3,280	553	0	0
人口対比(%)	2.0	0.3		

※人口:162,822人((平成23年2月末日現在)

死者:市内で収容された御遺体数+東松島市・女川町で収容された市民の御遺体数

【参考】最大避難者数は平成23年3月17日時点
50,758人

2. 津波による浸水範囲の面積(概略値)

区分	全国	宮城県	石巻市
浸水面積	561	327	73
市町村面積	12,382	2,003	556

※市内の13.2%(平野部の約30%)、中心市街地は全域が浸水

3. 建築物の建築を制限する区域 (被災市街地復興推進地域)

- (1)根拠:都市計画法、被災市街地復興特別措置法
- (2)制限区域:平成23年9月12日から平成25年3月10日
- (3)区域:大街道、南浜、中央、住吉、湊、渡波
- (4)対象面積:約450ha

4. 被災住家棟数

全壊	20,005棟	床上浸水	6,829棟
半壊	4,014棟	床下浸水	11,098棟
一部損壊	9,297棟	被災住家合計	51,243棟

※被災住家数計51,243棟÷被災前全住家数

74,000棟=69.2%(被災非住家:7,301棟)

半壊棟数は地震での被害であり、床上浸水棟数が大規模半壊となる。

5. 産業被害

(1)水産業

区分	全体数	被害数	被災率
漁港	44港	44港	100%
水産加工場	200社	200社	100%

※防波堤破損流出多数、定置網や養殖施設はほぼ全壊

漁船については、2,762隻損失(/被災前3,230隻=85.5%)

(2)製造業被害(東京商工リサーチ調による)

1,749社/2,599社=67.3%

18,003人/26,648人=67.6%

(3)農林業被害単位

区分	総面積(H22)	農地の流失、冠水等被害の推定面積	被害面積率	被害額
宮城県	136,300ha	14,300ha	10.5%	約5,330億7千万円
石巻市	8,850ha	1,834ha*	20.7%	約513億3千万円

※被害面積中、H23不能面積870ha、除塩不可面積964ha

(4)石巻港湾施設被害

- ・重要港湾石巻港については、防波堤、岸壁、荷捌地などの港湾施設105箇所が被災
- ・地方港湾4港(雄勝、金華山、表浜、荻浜)については、地盤沈下による冠水の影響や津波による岸壁護岸の損傷が激しいため、船の接岸ができない状況

6. 主な公共施設の被害状況

区分	全体数	被害箇所数	被災率
学校(校舎及び体育館)・幼稚園	136	44	32%
保育所	29	25	86%
病院・診療所	7	5	71%

7. 道路、橋りょうの被害状況

区分	全体数	被害数	被災率
道路	2,107km	368km	17.5%
橋りょう	418橋	158橋	37.8%

※橋りょうは、5m以上に関するデータ

8. 国県施設等の被害

公用土木施設	国道	県道	橋りょう	河川	海岸
被害箇所数	6箇所	578箇所	52箇所	22箇所	15箇所

9. 災害ガレキ関係

(1) 東日本大震災により市内で発生したガレキは、846万tで、市内24か所に約95haの用地を確保し、一次仮置場として災害廃棄物を集積。今後、2次仮置場へ搬入し、選別、焼却処理する予定。(震災前の市のごみ処理量が年間5万8千tであり、146年分の量)

(2) 一次仮置場には、10月7日まで約200万tの災害廃棄物が搬入され、全体の約32%を撤去したこととなる。

(3) 家屋等の解体により生じる災害廃棄物を除いた“ガレキ撤去率”としては、ほぼ100%に近い数値となっている。

10. 応急仮設住宅関係(10月4日現在)

(1) 16次までの建設希望数: 7,297戸

(2) 現在までの完成戸数: 7,297戸

(131団地)……100%

(3) 現在までの入居数: 6,334戸(15,523人)

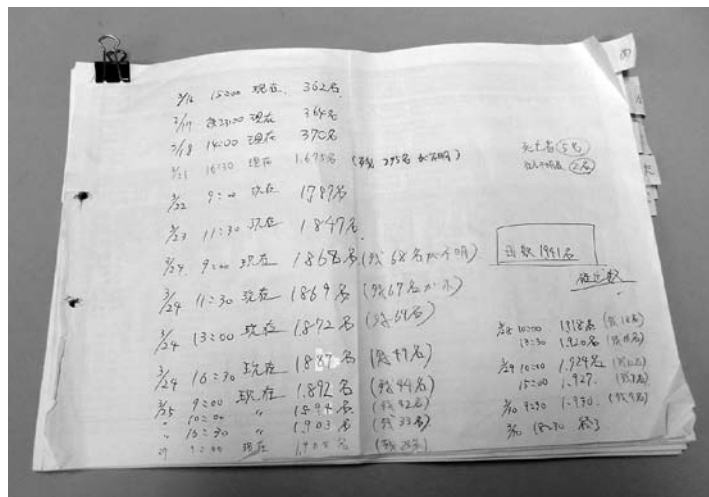
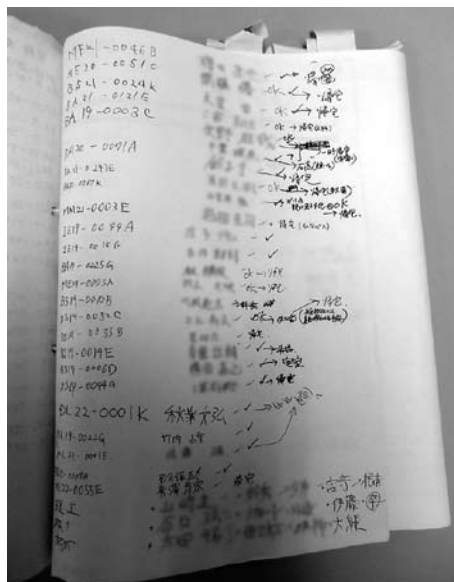
(4) 応急仮設住宅としての民間賃貸借上住宅: 6,462件(申込数)



3月13日市内大街道の様子

安否確認

学生、教職員の安否確認から、現在どこで何をしているかなど、通信機器が使用不能のなかで工夫を凝らしていた



安否確認で重要な役割を担ったリスト(表紙)。全学生の50音順リストで、その日時の安否情報が記入されている

震災直後、学生が学籍番号・氏名を記入した紙



伝言板を設置し情報の行き違いや伝達もれがないように、細心の注意を払っていた

情報発信

震災より約2週間、市内が混乱と深い悲しみに包まれているなか、学内では始動へ向けての情報発信を始めた。

第486号 (昭和44年10月14日第3種郵便物認可) ニュース専修 2011年(平成23年)3月25日 (12)



▲津波の被害をまねがれた石巻専修大学の様子(国土地理院サイト空中写真＝3月15日10時現在)

多数の被災者受け入れ

救護所、ボランティアセンター開設



石巻専修大学長
坂田 隆

石巻専修大学の校舎は、東北地方太平洋沖地震で被災され方々に大きな被害を及ぼしています。被災者を受け入れるため、救護所とボランティアセンターを開設しました。また、被災者の生活を支えるため、学内での生活支援も進めています。

石巻専修大学の校舎は、東北地方太平洋沖地震で被災され方々に大きな被害を及ぼしています。被災者を受け入れるため、救護所とボランティアセンターを開設しました。また、被災者の生活を支えるため、学内での生活支援も進めています。

学生の家族の皆様へ 安否確認のお願い

石巻専修大学は、学生の安全を確認するため、家族の皆様へ安否確認のお願いをしております。ご家族の皆様へ、学生の安全を確認していただくようお願いいたします。

石巻専修大学は、学生の安全を確認するため、家族の皆様へ安否確認のお願いをしております。ご家族の皆様へ、学生の安全を確認していただくようお願いいたします。

被災者の生活支援

被災者の生活支援のため、学内での生活支援も進めています。被災者の生活を支えるため、学内での生活支援も進めています。

被災者の生活支援のため、学内での生活支援も進めています。被災者の生活を支えるため、学内での生活支援も進めています。

力強く生きよう

被災者の生活支援のため、学内での生活支援も進めています。被災者の生活を支えるため、学内での生活支援も進めています。

被災者の生活支援のため、学内での生活支援も進めています。被災者の生活を支えるため、学内での生活支援も進めています。

5団体・27人の活動たえ

被災者の生活支援のため、学内での生活支援も進めています。被災者の生活を支えるため、学内での生活支援も進めています。

被災者の生活支援のため、学内での生活支援も進めています。被災者の生活を支えるため、学内での生活支援も進めています。

高次連携

被災者の生活支援のため、学内での生活支援も進めています。被災者の生活を支えるため、学内での生活支援も進めています。

被災者の生活支援のため、学内での生活支援も進めています。被災者の生活を支えるため、学内での生活支援も進めています。

避難場所・ボランティアセンターとして機能している石巻専修大学の様子



3月25日発行の『ニュース専修』にて、坂田学長より学内の状況を報告。救護所、ボランティアセンターの開設も伝えられた

1 その時、大学は

2 大学の被災状況

3 地震直後からの大学の対応

4 地域社会への貢献

5 各学部・委員会などの対応・動向

6 建物と地盤について

7 震災を振り返って

資料編

平成23年4月5日

教員各位

学長 坂田 隆

3月11日に発生しました東北地方関東沖地震に際し、被災された方々には、心からお見舞い申し上げます。

この災害による被害状況は、3月30日現在の警察庁の調べでは、宮城県内での死者6,906人、不明者6,927人、避難者は7万人を超えている状況の中、3月31日現在、本学学生全員の安否確認がとれ、1,941人中、1,935人の生存が確認されております。残念なことです、6人の学生が死亡となっております。教職員については、全員生存が確認されております。

大学は、地震直後から交通、電気、水道、ガス、通信が途絶えたため、教員の皆さんの安否確認に時間がかかり、また、電話等の通信手段がつながりにくくなるなど、大変ご心配をおかけいたしました。

大学は、もともと災害時の指定避難所にはなっておりませんでした、地震直後から、石巻市の緊急要請により、4号館を臨時避難所として提供し、避難者を受け入れ、本学学生については、本館2階の会議室を避難所とし受け入れました。ピーク時には、避難者数1,000名を超えました。(本学学生は70名程度でした)。

3月31日現在、大学内に避難している一般の方は、222人、本学学生は6人となっています。

このような大震災にも関わらず、キャンパス内の建物等については、大学運営に支障をきたすほどの被害はありませんでした、また津波による影響も受けませんでしたのでご安心ください。

しかしながら、石巻市内及びその周辺、とくに太平洋側の沿岸地域における地震と津波による被害は甚大であり、連日、報道されるテレビ映像でその状況をご覧いただいている方も多いかと思えます。

市内を流れる旧北上川の河口付近から市街地に向けて、浸水しました。また、とくに石巻湾に近いところ、河口に近いところを中心に家屋の流失、全壊、半壊、床上・床下浸水といった被害が目立ちます。

この地震のあと、建物、実験機器等の状況を確認いたしました。理工学部の実験室は、目視による点検を終えておりますが、水道が給水していないことから、今後実験室の責任者立ち合いの下、安全の確認を行った上で、再度実験機器の再点検をお願いしたいと考えております。また、研究室については、目視の点検は終了しておりますが、書棚等は、地震直後のままとなっておりますので、各人で出校後、ご確認をお願いいたします。

また、今後の学事日程、教育支援、学生支援、当面の対応措置等については、添付ファイルをご覧ください。

次にキャンパス内の現況についてお知らせいたします。

大学では、地震、津波の発生後、キャンパスそのものに被害が少なかったことから、避難者の診療に当たるため、日本赤十字社の臨時救護所として体育館の一部施設を提供(体育室)、また、石巻市社会福祉協議会・ボテンティアセンターのベースキャンプとしての施設提供(5号館の会議室、雨天体育場、陸上競技場、駐車場)を提供、陸上自衛隊の臨時駐留場所の提供(多目的グラウンド)、石巻赤十字看護専門学校への教室の提供(2号館3階ほか)、県石巻合同庁舎への提供(体育館アリーナほか)など、大学として可能な限りの協力体制を講じております。いずれも大学の授業運営に支障がない範囲で許可しております。

先生方には、新学期の前後に際して、何かと、ご不自由な面も多々あるかと思いますが、このようなご事情をご賢察いただき、ご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

以 上

在学生の安否が確認されて間もない時期、坂田学長より教員(4月5日)、
 新生・ご家族(同)、在学生(4月6日)へとメッセージが発信された。23年
 度のスタートに向け、少しずつ前進し始めた

平成23年4月5日

新入生・ご家族の皆さま

学 長 坂 田 隆

3月11日に発生しました地震と津波の被害を受けられました皆様に心からのお見舞いを申し上げます。

わたくしたち石巻専修大学でも6人の在学生在が亡くなりました。前途有為な若者が天寿を全うすることなく命を奪われた無念さを考えると、いたたまれないものがあります。

教職員は全員が無事でした。また、大学の建物や設備、実験機器などもほとんど被害がありませんでしたが、住宅の状況や交通事情のために、23年度入学式を5月22日にいたしました。文部科学省からの連絡にしたがい、前期は柔軟な授業展開をし、後期からは例年通りの授業運営をする予定です。私たちも、一日も早く石巻専修大学に入学されたみなさんに会いたいと思っておりますが、事情をご賢察の上ご了承くださいますようお願い申し上げます。

新入生の皆さんの中にはご家族を失ったり、家計に困難を生じた人もいます。しかし、こういうときであるからこそ、高等教育を全うして、亡くなられた方の分まで活躍する備えをすることが重要だと考えます。学校法人専修大学と石巻専修大学は被災した在学生のために災害見舞奨学金を通常よりも手厚く支給し、あわせて家計急変奨学金も支給することを決定しています。現在、専修大学校友会が中心となって、被災した学生を支援するための募金活動も始まっています。さらには学生支援機構などの学外の資金援助への応募も支援することになっています。入学式の前でもけっこうですから、大学に相談をしてください。

学内には避難所や日本赤十字社の救護所、ボランティアセンターなどが開設されていますが、入学式以降の授業に支障がないように調整を進めます。また、宿舎の斡旋や交通手段の確保についても努力を続けております。

今回の災害にあたって、石巻専修大学は石巻赤十字病院とならんで石巻圏域の緊急対応の要となりました。今後は災害からの復興をめざした総合的な研究を進め、地域を主導することによって東北沿岸域の核となる大学を目指します。学生諸君にもこの研究に参加して欲しいと考えています。新入生の皆さんに再会するまで少し時間が空きますが、4月中旬にはその間の過ごし方について学部・学科から指導がありますので、注意して下さい。

入学式で皆さんにお目にかかるのを楽しみにしています。

平成23年4月6日

在学生・ご家族の皆さま

石巻専修大学 学長 坂田 隆

3月11日に発生しました地震と津波の被害を受けられました皆様に心からのお見舞いを申し上げます。

わたくしたち石巻専修大学でも6人の在学生が亡くなりました。前途有為な若者が天寿を全うすることなく命を奪われた無念さを考えると、いたたまれないものがあります。

教職員は全員が無事でした。また、大学の建物や設備、実験機器などもほとんど被害がありませんでしたが、住宅の状況や交通事情のために、23年度前期のオリエンテーションおよび授業の開始を5月20日からにいたしました。文部科学省からの連絡にしたがい、前期は柔軟な授業展開をし、後期からは例年通りの授業運営をする予定です。事情をご賢察の上ご理解賜りますようお願い申し上げます。

在学生の皆さんの中にはご家族が亡くなられたり、家計に困難を生じた人も少なくないと思います。しかし、こういうときであるからこそ、高等教育を全うして、亡くなられた方の分まで活躍する備えをすることが重要だと考えます。学校法人専修大学と石巻専修大学は被災した在学生のために災害見舞奨学金を通常よりも手厚く支給し、あわせて家計急変奨学金も支給することを決定しています。現在、専修大学校友会が中心となって、被災した学生を支援するための募金活動も始まっています。さらには学生支援機構などの学外の資金援助への応募も支援することになっています。いつでも大学に相談をしてください。

また、就職支援も通常と同様におこなっています。また、専修大学の神田校舎および生田校舎での就職支援も専修大学生と同様に受けられます。

学内には避難所や日本赤十字社の救護所、ボランティアセンターなどが開設されていますが、5月20日からの授業開始に支障がないように調整を進めます。また、宿舍の幹旋や交通手段の確保についても努力を続けております。

今回の災害にあたって、石巻専修大学は石巻赤十字病院とならんで石巻圏域の緊急対応の要石となりました。今後は災害からの復興をめざした総合的な研究を進め、地域を主導することによって東北沿岸域の核となる大学を目指します。在学生の皆さんに再会するまで少し時間が空きますが、その間は学部・学科の先生の指導に従って有意義にすごして下さい。

学生支援担当からお知らせ(新入生向け)

(1)奨学金制度について

今回の大震災で被災した学生の被災状況に照らして、

- ①本学独自の奨学金として、75万円を上限として支給します。(学生支援係への申請により、災害見舞奨学生、家計急変奨学生への応募)
- ②日本学生支援機構の「緊急・応急採用」奨学金に応募できます。
- ③その他、「あしなが育英会」等の公的・民間奨学金にも応募できる可能性があります。

以上について、詳しくは5月23日からのガイダンスで説明します。(電話では、学生個別に対応できないため)

(2)アパート・下宿等物件の情報提供について

新入生で自宅・アパート・下宿等が被災し、現在の住居に住めなくなった方を対象として、物件相談に応じています。

しかし、以前と同様の条件とは限らず、住所が石巻市外や、市内でも下宿形式となる可能性があります。条件が変更となっても、現在の宮城県内の極端に少ない物件状況を考慮して「学生生活ができる最低限の環境があれば入居する。」という心構えが必要となります。

以上について、詳しくは学生支援係へお問い合わせください。(TEL. 0225-22-7712)

学生支援担当からお知らせ(在学生2～4年次生向け)

(1)奨学金制度について

今回の大震災で被災した学生の被災状況に照らして、

- ① 本学独自の奨学金として、75万円を上限として支給します。(学生支援係への申請により、災害見舞奨学生、家計急変奨学生への応募)
- ② 日本学生支援機構の「緊急・応急採用」奨学金に応募できます。
- ③ その他、「あしなが育英会」等の公的・民間奨学金にも応募できる可能性があります。

以上について、詳しくは5月20日からのガイダンスで説明します。(電話では、学生個別に対応できないため)

(2)アパート・下宿等物件の情報提供について

在学生で自宅・アパート・下宿等が被災し、現在の住居に住めなくなった方を対象として、物件相談に応じています。(推計で、最大140人見込)

しかし、以前と同様の条件とは限らず、住所が石巻市外や、市内でも下宿形式となる可能性があります。条件が変更となっても、現在の宮城県内の極端に少ない物件状況を考慮して「学生生活ができる最低限の環境があれば入居する。」という心構えが必要となります。

以上について、詳しくは学生支援係へお問い合わせください。(TEL. 0225-22-7712)

(3)就職活動支援について

就職活動中の新4年生諸君へ

- ① 来校できる方はぜひ進路支援係に来てください。
- ② その他の手段として、電話・FAX・メールでの相談依頼に対応しています。
- ③ 大学所定の履歴書について、進路支援係カウンターで販売中(1セット150円)。
- ④ 就職資料室を利用できます。パソコンでインターネット(S-ネット等WEBシステム)の利用が可能です。
- ⑤ 首都圏で就職活動を展開する学生には、専修大学神田校舎就職課(東京都千代田区神田神保町 3-8 7号館 2階)の活用を勧めています。求人検索、就職相談等に応じていますので、遠慮なくぜひ訪問してください。

以上について、詳しくは進路支援係へお問い合わせください。

【連絡先】

石巻専修大学事務部事務課 進路支援係

電 話 0225-22-5019

FAX 0225-22-5037

メール syusyoku@isenshu-u.ac.jp

1 その時、大学は

2 大学の被災状況

3 地震直後からの大学の対応

4 地域社会への貢献

5 各学部・委員会などの対応・動向

6 建物と地盤について

7 震災を振り返って

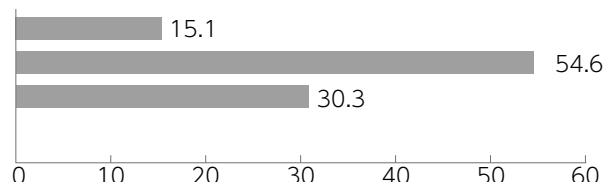
資料編

アンケート

教職員を対象に震災当時に関するアンケートを実施。

Q1 地震発生時、あなたは、どこで何をしていましたか？

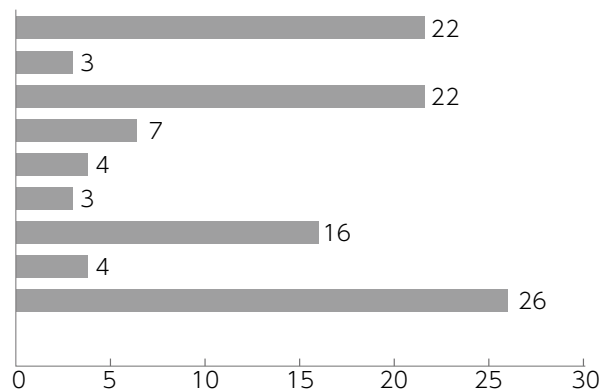
カテゴリ	件数	%
a. 自宅	10	15.1
b. 大学	36	54.6
c. その他	20	30.3
無記入	0	0
総計	66	100.0



Q2 3月11日の地震発生～翌日3月12日のあなたのとった行動を記してください。（複数回答可）

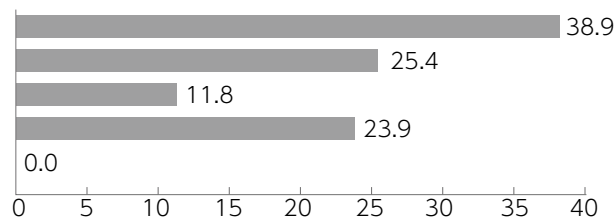
(1) 3月11日地震発生直後

カテゴリ	件数
a. 倒れそうな物を押さえた	22
b. 何もしなかった	3
c. 建物の外に出た	22
d. 机の下に隠れた	7
e. 高いところに移動した	4
f. 火をとめた	3
g. テレビ・ラジオをつけた	16
h. インターネットの情報を見た	4
i. その他	26
無記入	0
総計	107



(2) 翌日3月12日までの行動

カテゴリ	件数	%
a. 自宅に帰った	26	38.9
b. 大学に残った	17	25.4
c. 避難所に行った	8	11.8
d. その他	16	23.9
無記入	0	0.0
総計	67	100.0



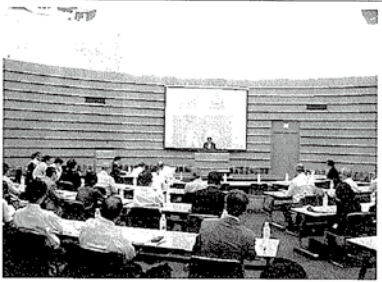
全私学新聞に見る石巻専修大学

私立学校の振興と発展を目指して発行されている全私学新聞において、被災状況の取材報告や本学の当時の対応が紹介された。

平成23年7月23日

第2211号 (2)

(昭和40年3月24日第三種郵便物認可)



大阪国際会議場で行われた私大連盟の平成23年度第1回学長会議

石巻専修大学の対応

復興構想 五百旗頭氏が基調講演

日本私立大学連盟(会長は七月二三日の両日、長門清家氏・副会長は大阪国際会議場)で今年度の第一回学長会議の経験も交えながら、今回の震災時の国際支援の経験を語り、今後の日本社会の再生と大学の役割、加盟大学の学長や副学長ら約九十人が参加した。

東日本大震災復興構想の提言については、先例のない悲劇の中で、どん底に落ちた同胞をいかに支え、守るかという精進を、理心をきちんと語り、それを全国民が共有できるものにする、と、空論ではなく、具体的な行動が実施されるものであること、二点を大事にし、社会の中に多様性を

日本私立大学連盟(会長は七月二三日の両日、長門清家氏・副会長は大阪国際会議場)で今年度の第一回学長会議の経験も交えながら、今回の震災時の国際支援の経験を語り、今後の日本社会の再生と大学の役割、加盟大学の学長や副学長ら約九十人が参加した。

東日本大震災復興構想の提言については、先例のない悲劇の中で、どん底に落ちた同胞をいかに支え、守るかという精進を、理心をきちんと語り、それを全国民が共有できるものにする、と、空論ではなく、具体的な行動が実施されるものであること、二点を大事にし、社会の中に多様性を

7月23日号の主な内容

震災をテーマに私大連盟が学長会議…2面

全専各連が定例総会を開催…3面

日私小連研修会部会報告①…4面

清水・日私小連新会長に聞く…5面

【全私学新聞(平成23年7月23日)】掲載

1 その時、大学は

2 大学の被災状況

3 地震直後からの大学の対応

4 地域社会への貢献

5 各学部・委員会などの対応・動向

6 建物と地盤について

7 震災を振り返って

資料編

全私学新聞について

- 新聞発行の目的と組織
- 全私学新聞媒体案内
- 広告出稿のご案内
- リンク集

全私学新聞 購読お申込用紙

過去5年分のバックナンバーのDVD版を販売しています



好評発売中

バックナンバーDVD
お申込書

こちらからダウンロードしてFAXでお申し込みください。

教職員のための個人情報・個人データ取り扱いQ&A
お申込書

こちらからダウンロードしてFAXでお申し込みください。



教職員のための個人情報・個人データ取り扱いQ&A

一巻紙
低炭素社会実現に取り組む私学

● 全私学新聞「今月の注目」記事

TOP >> バックナンバー一覧 >> 2011年4月13日号ニュース >> VIEW

記事2011年4月13日 2201号 (3面) 選択して下さい

東日本大震災 宮城県石巻市の被災状況取材 市街地に影大な瓦礫 各地でボランティアによる 炊き出し

三月十一日の東日本大震災から約三週間たった四月二日、全私学新聞編集部二人が東京・新宿発の深夜バスで仙台入りし、三日早朝、宮城交通の臨時バスに乗り換えて、石巻市に到着。私立学校の被災状況や市内の状況を見て回った。（編集部）

仙台市から約五十キロ北東方面に位置し、太平洋に面する石巻市の被害状況は、海や川に近いほど津波の影響が大きく被害は甚大だった。またその後、発生した火災により大きな被害が生じた。大震災から約三週間が経過したため道路上の瓦礫は、車の通行路を確保するため道路の両端に寄せられてはいたが、瓦礫の量は膨大で、至る所に流れ残った車や壊れた車が散らばっていた。また遠目から見るとあまり被害が見えない住宅でも、近づくとも一階部分を濁流が襲ったため、室内に瓦礫が散乱する状況で、生活するのは難しい状況だ。しかし地域によっては少しずつ瓦礫の撤去が始まっており、旧北上川横の空き地が瓦礫の集積場となっていた。瓦礫は至る所にあり完全に整理がつくまでは相当な時間が必要だと思われる。

また市内では自衛隊のほか、瓦礫の運搬などに当たる米軍車両を数多く見かけた。市内ではガス、電気、水道の復旧ができていない状況。JR石巻駅前立つ市庁舎には災害対策本部が置かれていたが、市庁舎自体も建物最上部に複数亀裂が見えた。

そうした中であって被災者を支援するボランティア団体は指定避難所だけでなく、大きな被害を受けた団地、一戸建ての並ぶ住宅地、JR石巻駅前広場などで炊き出しを行うなど支援活動を展開しており、被災者の大きな支えになっていた。（※本紙ではボランティア団体のご厚意で支援活動に同行させてもらい、市内を見て回った）

一方、仙台市内も沿岸部ほど深刻な被害状況。市内では水道や電気が比べてガスの復旧が遅れており、営業休止中の飲食店が多く見られた。

また市内の銭湯には長い行列ができ、入浴するにも二時間近くかかる状況だった。我々が訪れた宮城野区の銭湯にはトルコの救援隊も入浴に訪れ、居合わせた市民から歓迎される一幕も見られた。

一方、比較的海から離れた石巻専修大学は、大きな被害はなかったため、被災者の避難所、日本赤十字社の救援所などとなっていた。

グラウンドにはボランティアが持ち参ったテントが数多く設置され、自衛隊の車両、救急車等も複数見られた。被災者の居住場所となっていた四号館のエントランス部分ではボランティアによる炊き出しが行われており、一階部分には安否不明者の情報を求めるメモなどが壁一面に貼られていた。石巻専修大学の正門前を流れる旧北上川には岸辺に多くの漂流物が散乱、複数の魚が打ち上げられていた。大震災などの非常時に学校は被災者の避難場所となるが、それだけに大きな地震にも耐える堅牢な建物が必要で、社会資本である私立学校にもそうした面で手厚い早急な公的支援が必要だと感じさせた。



宮城県石巻市で撮影

【全私学新聞ホームページ
(平成23年4月13日)】
掲載

全私学新聞

Zenshigaku Online Newspaper

HOME リンク集

全私学新聞について

- 新聞発行の目的と組織
- 全私学新聞媒体案内
- 広告出稿のご案内
- リンク集

全私学新聞
購読お申込用紙

過去5年分のバックナンバーのDVD版を販売しています

好評発売中

バックナンバーDVD
お申込書

こちらからダウンロードしてFAXでお申し込みください。

新聞購読のための個人情報・個人データ取り扱いについて
お申込書

こちらからダウンロードしてFAXでお申し込みください。

教職員のための個人情報・個人データ取り扱いQ&A

連載
低炭素社会実現に取り組む私学

私学は一つ・教育は私学から・私学は百花繚乱

新聞記事（ニュース検索）バックナンバー一覧

● 全私学新聞「今月の注目」記事

TOP >> バックナンバー一覧 >> 2011年7月23日号ニュース >> VIEW

記事2011年7月23日 2211号(2面) 選択して下さい

**震災後の日本社会の再生と大学の役割テーマに
私立大学連盟が第1回会長会議**

復興構想会議議長 五百旗頭真氏が基調講演
石巻専修大学の対応など報告

日本私立大学連盟（会長＝清家篤・慶應義塾長）は七月二、三の両日、大阪市の大阪国際会議場で今年度の第一回会長会議を開いた。

今回のテーマは「震災後の日本社会の再生と大学の役割」。加盟大学の学長や副学長ら約九十人が参加した。

東日本大震災復興構想会議の議長を務める五百旗頭真・防衛大学校長の基調講演をはじめ、被災大学からの報告やディスカッション、グループ討議などが行われた。

五百旗頭氏は、神戸大学在職中に、自宅のあった西宮市で阪神・淡路大震災に遭った。そのときの経験も交えながら、今回の震災時の国際支援の受け入れや、自衛隊の活動、政府の対応などについて語った。

六月二十五日に音首相に提出した復興構想会議の提言については、先例のない悲惨の中で、どん底に落ちた同胞をいかに支え、守るかという精神、理念をきちんと語り、それを全国民が共有できるものにする、空論ではなく書いたことが実現されるものであること、の二点を大事にしたと述べた。

さらに、復興は、社会経済の変化を見取ったものでなくてはならないとし、犠牲者、財産の損失をできるだけ少なくする減災の重要性を強調。「同世代の国民で復興を支える、見捨てない。そのことが、日本の新しい再生につながる」と締めくくった。

続いて行われたディスカッションには、清家会長をはじめ、石巻専修大学学長の坂田隆氏、宗教学者の山折哲雄氏がパネリストとして参加した。

清家氏は、学問を通じて学生を育て、研究成果を上げることが、日本の再生への力になると、復興に果たす大学の役割を説明。

学生の七割を担う私立大学は、それぞれが建学の精神を掲げていることから、多様な価値観に基づく教育・研究を通じて、社会の中に多様性を確保する上で重要な役割を果たしていると述べ、こうした役割に鑑みれば、公的支援に国私の差があってはならないと強調した。

坂田氏は、石巻専修大学の被災状況や、地元の避難住民の受け入れ、学生への対応などについて具体的に説明した。同大学は、津波による甚大な被害が出た石巻市に位置するが、キャンパスは、幸い津波の被害を免れ、被災直後から、大学施設をボランティアセンターや自衛隊の通信部隊等に提供。現在も、宮城県合同庁舎や石巻復興協議会が利用しているという。

坂田氏は、日頃から地域と顔の見える付き合いをしていたことが大きな力になったと述べた。半面、被災地域から進学してくる学生が多いことから、最大の課題として、今後の学生募集を挙げた。

山折氏は、今回の震災に当たり、旧約聖書の「ノアの箱舟」と法華経の「三車火宅」という二つの物語を思い起こしたという。ここに現れている、ユダヤ・キリスト教社会の生き残る者と死にゆく者とが選別される「生き残り戦略」と、われわれの生きている現実世界はすでに燃える「火宅」であり、死からは免れられないという「無常戦略」とを対比。大震災に直面した今、この二つの神話的、古代的な物語が、われわれが慣れ親しんできた近代的な価値観を根底から揺さぶっているのではないか、と問題提起した。

フロアの参加者も交えたディスカッションでは、被災地の大学への支援の在り方や、教員の地域貢献、震災の教訓を生かした大学づくり、復興財源の確保策などについて意見交換が行われた。

記事の著作権はすべて全私学新聞運営委員会に帰属します。
無断での記事の転載、転用を禁じます。

全私学新聞運営委員会 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-26 第一稲穂ビル/TEL.03-3265-7551
Copyright(C) 全私学新聞運営委員会 2010

【全私学新聞ホームページ
(平成23年7月23日)】掲載

1 その時、大学は

2 大学の被災状況

3 地震直後からの大学の対応

4 地域社会への貢献

5 各学部・委員会などの対応・動向

6 建物と地盤について

7 震災を振り返って

資料編

新聞報道に見る石巻専修大学

3月11日の震災直後から今日に至るまで、学際的な分野に限らず石巻の復興と再生にむけた学生、教職員の活躍が地元紙を中心として紹介されている。
未来に向けての力強い確かな一歩である。

石巻専修大学
入学試験で特別措置
あす1日から出願受け付け

石巻専修大学は、3月11日の震災で大きな被害を受けた石巻市の学校が、学生の復学を求めている。学校関係者は「学生の負担を減らし、不安をぬぐうために協力してほしい」と訴えている。

石巻専修大学は、女子生徒の制服提供を呼び掛けている。在校生の4分の1の自宅が全壊、半壊の被害を受け、避難所で生活している生徒も多い。制服をなくした生徒や新入生に支給する考えだ。

制服のサイズは問わず、旧石巻女子高時代の物でもいい。同校に持参するか、郵送で受け付ける。同校の平岡拓哉諭は「約200人の新入生を迎えるが、被災して経済的に困っている子もいるはず」と卒業生の協力を求めている。連絡先は同校臨時電話090（4759）0059。

石巻専修大は新入生や部員の洪水被害に遭った学生のために、石巻市と遠藤市町村で150～200室の賃貸物件を確保している。同大は「市内の不動産業者の多くと連絡がつかず、県外からの新入生らの需要に広えられなくて困っている」と話す。自宅を下宿先として提供する場合にも対応する。

同大は5月20日に新学期を開始し、同22日に入学式を予定。情報提供は5月末まで受け付け。連絡先は同大事務課学生支援係0225（22）7712。

【石巻日日新聞（平成23年4月1日）】掲載

使わない制服、余っている部屋 提供お願い

石巻の学校呼び掛け

石巻専修大学は、女子生徒の制服提供を呼び掛けている。在校生の4分の1の自宅が全壊、半壊の被害を受け、避難所で生活している生徒も多い。制服をなくした生徒や新入生に支給する考えだ。

制服のサイズは問わず、旧石巻女子高時代の物でもいい。同校に持参するか、郵送で受け付ける。同校の平岡拓哉諭は「約200人の新入生を迎えるが、被災して経済的に困っている子もいるはず」と卒業生の協力を求めている。連絡先は同校臨時電話090（4759）0059。

石巻専修大は新入生や部員の洪水被害に遭った学生のために、石巻市と遠藤市町村で150～200室の賃貸物件を確保している。同大は「市内の不動産業者の多くと連絡がつかず、県外からの新入生らの需要に広えられなくて困っている」と話す。自宅を下宿先として提供する場合にも対応する。

同大は5月20日に新学期を開始し、同22日に入学式を予定。情報提供は5月末まで受け付け。連絡先は同大事務課学生支援係0225（22）7712。

【石巻かほく（平成23年4月1日）】掲載

専門家の意見も活用
石巻市震災復興基本計画
有識者懇、きょう初会合

石巻市は、復興の基本となる「石巻市震災復興基本計画」の策定に向け、専門家の意見も活用するため、有識者懇話会（有識者懇）の初会合を、3月11日の震災から12年となる今年3月15日（土）に開催する。初会合は、石巻市役所第2会議室で、市長、副市長、関係機関の代表者など約30人が参加し、復興の基本となる「石巻市震災復興基本計画」の策定に向け、専門家の意見も活用するため、有識者懇話会（有識者懇）の初会合を開催する。初会合は、石巻市役所第2会議室で、市長、副市長、関係機関の代表者など約30人が参加し、復興の基本となる「石巻市震災復興基本計画」の策定に向け、専門家の意見も活用するため、有識者懇話会（有識者懇）の初会合を開催する。

【石巻かほく（平成23年5月15日）】掲載

石巻復興へ英知結集を
初の有識者懇 経済、防災など助言

石巻市は、復興の基本となる「石巻市震災復興基本計画」の策定に向け、専門家の意見も活用するため、有識者懇話会（有識者懇）の初会合を、3月11日の震災から12年となる今年3月15日（土）に開催する。初会合は、石巻市役所第2会議室で、市長、副市長、関係機関の代表者など約30人が参加し、復興の基本となる「石巻市震災復興基本計画」の策定に向け、専門家の意見も活用するため、有識者懇話会（有識者懇）の初会合を開催する。

【石巻かほく（平成23年5月17日）】掲載

被災学生を全面支援
スカラシップ入学実施へ

[illegible]

会見に臨む坂田学長

【石巻日日新聞(平成23年7月22日)】掲載

地元企業再生へ協力

石巻専修大
李ゼミ学生

石巻専修大学の学生たちも被災した地域への支援活動として、24～26日、東京近郊で開かれたチャリティイベントに参加するため、被災した石巻市の水産加工場で在庫の缶詰を配り出す作業から始まり、宣伝用のポスター製作、パザールをすて学生たちも荷物を増やした。「復興」に向けてこれから正倉館、自分たちも何らかの役に立ちたい」と思いを地盤に注いでいる。



ぬ密の中がそれらを
掘り出し、先争って義
勇金協力者で殺して
る。学生たちはサー
を販売する商売に積極
的に取り組んだ。

24日からのチャリ
イイベントには学
と准教授の5人が
加えて、金量さは、
イワシの缶詰3点セ

外に向けては右巻の政治状を知らせ、これが本場の復興に向けて勝算であることをアピールするところにも、（市民）には心身と金銀が出てきている

限の「浦島」をた
た3年の「浦島」を
さん(20)と今年の佐藤
選平さん(18)は「浦
島」の歌に再入れ
たため、この機会に
て、歌謡に初めて
て、想像以上に大変
な苦学で、今年も
「浦島」で返答した
るために、少しでも
動はるるが「浦島」

【石巻日日新聞(平成23年6月30日)】掲載



学生らが被災者を元気づける精一杯の演奏を行った

年間を通して行い、最終的に北風の夢や、希望を込めた2つの絵を完成させるという。

**音楽で勇氣
元氣を与えたい**

石巻専修大SWO
顧問 コンサート
石巻専修大吹奏楽
研究会 シンフォニッ
ク・ウインド・オーケ
ストラ 12月1日、東日本大震災の被災者を元気づけようと、避難所になつてくつ、避難所を井公民館でコンサート

研究会から5人が選出された。研究を訪問し、北風の歌の「北風の流れるよ」との演歌や歌謡曲をスチーロ演奏したほか、学校の合唱曲として定着した「さくら」を、上巻の「少年時代、向いて歩こう」といったなじみの曲を短くけた。

一時は300人いたた「現在公民館の日中として、避難所公民館の避難者は、現在46人。日曜日の日中として、避難

研究会は汗をかきながら精一杯真心を込めて演奏していた。代表の菅野雅人さん（経営学部3年）は「これまで地域の催しに招かれ、演奏させていただいた。初めて音楽で勇気を与えることができれば」と願った。

研究会は今後も、被災地での慰問演奏を行うことになっている。

【石巻日日新聞(平成23年7月19日)】掲載

子どもと復興
主題に懇話会
あす石巻専修大
「五毛」をテーマと
する石巻専修大、復興の第
4回まつらで講演会が
10日午後時と同大ら
豊前町で開催。
震災直後から被災地で
子どもたちが続けられ
障害種別はデフ・サ・
チルドレン・シヤパンが
びばいていゝ。

「子ども復興を考える」
復興図鑑「石巻のトモ
ヨロイ」多しヨリの栄
田原代表が「石巻子
どもの未来復興図鑑」を
助をテーマにそれぞれ
講演披露。

その後、「子どもの未来
復興図鑑」をテーマと
して講演披露。

主催者は「気候に添加
しい」と会場時

【石巻日日新聞(平成23年9月9日)】掲載

1 その時、大学は

2 大学の被災状況

3 地震直後からの大学の対応

4 地域社会への貢献

5 各学部・委員会などの対応・動向

6 建物と地盤について

7 震災を振り返って

資料編

**石巻専修大生
仮設の子招き
一緒に遊ぶ**

石巻専修大経済学部
山崎泰典准教授ゼミの学
生が23日、石巻市南境に
ある仮設団地集会所で子
どもたちを招いてクリス
マス会を開いた。



山崎准教授は「石巻市
中心部に近い仮設住宅に
は、学校も学年も通つ子
が多い。子どもが孤立し
ない方法などを模索し、
支援していきたい」と話
している。

同ゼミは8月、仮設住
宅の実態調査をした際、
子どもが孤立しがちなこ
とを把握。その支援策と
して10月から南境仮設住
宅で、子どもが集う「に
こにひろば」という取
り組みを始めた。

仮設住宅での子ども支
援には、社団法人日本家
政学会の協力しており、
今後も月2回のペースで
「にこにひろば」を継
続していく。

仮設住宅の子ども同士がコミ
ュニケーションを図ったクリ
スマス会 石巻市南境

【石巻かほく(平成23年12月25日)】掲載

**シンガー上田さん
被災者を歌で応援**

石巻でコンサート

日本を代表するシンガーに勇気をもらったなど、CDを収録した稲井小の
上田正樹さんの「今あ
る気持ちコンサート」が
ら大きな拍手が送られて
いた。

23日夜、石巻専修大5号
館であった。上田さんが
制作した東日本震災復
興応援歌「今ある気
持ちは」を、コンサート
を石巻市稲井小の金児重
319人と、上田さんの
母校・岐阜県高山市松倉
中の金生徒485人が歌
い、CDに収録したこと
が縁で実現した。

上田さんは童謡の「タ
焼け小焼け」やジョン・
レノンの「ハッピークリ
スマス」、自身の大ヒッ
ト曲「悲しい色やね」な
どハスキーな歌声で次々
に披露。集まった300
人近い聴衆を魅了した。
歌の合間には「少しで
も皆さんの心を和らげる
ことができればシンガー
として本望」「子どもの
エネルギーはすごい。逆

最後に「世界中に届く
ように大きな声で歌って
ください」と「今ある気
持ちは」を、コンサート
出演した韓国のシンガー
キム・ドヒャンさん、石
巻地方のゴスペルグル
ープ「キャンディーズ」
のメンバーとともに熱
唱。客席には上田さんと
石巻専修大5号館

「今ある気持ち」を熱唱
する上田さん(中央)ら
石巻専修大5号館



【石巻かほく(平成23年12月27日)】掲載



石巻専大・大津教授の
リチャード・ハルバシー
ユタツさん(46)「ハイキ
リス出身」がこのほど、
東日本大震災当時の体験
や葛藤をつづった「前を
向いて、歩こう」(サンマ
ーク出版)を発売した。
リチャードさんはイキ
リス・ワークシャー州の州
都レディング市出身。18
年前から石巻市中部で暮
らし、現在は石巻専大
学理・学部で英語を指導
している。

震災発生時は研究室に
いたリチャードさん。津
波で自宅付近が冠水し、
石巻ランドホテルへと
避難した。同書ではその

時の体験談や、原発事故を受けてイギリス大使館から帰国を促された際の葛藤、避難所で暮生えた住民同士との交流など、外国人から見た被災地での様子がつづられている。

リチャードさんは「震災時は被災地に残るか、安全に暮らせるイギリスに戻るかの決断を迫られた。石巻で暮生えたきずなが私をこめてくれた。多くの人に読んでいただき、共に復興に向かつて歩いていきたい」と話していた。

価格は1365円。地元書店やインターネットで発売している。

愛する地域を

▽座談会出席者▽

▽司会進行
李勲(いんとん)か
石巻美術大学経営学
部2年生

▽参加者
渡邊慶太(わたなべけい
た) 石巻興業支
店マーケティング
事務局長

阿部つばさ(あべつば
さ) 石巻中学校3年
生
菊子川洋樹(きくこがわ
ひろき) 矢本第一中
学3年生
神田達孝(かんだたけ
ひさ) 宮城東高校1
年生
◎会場▽石巻復興支援
センター1F事務課(石巻
市昭和町5番地)1階

古里は空気のような存在だと思う

[illegible]

自分にできることで貢献



1 その時、大学は

2 大学の被災状況

3 地震直後からの大学の対応

4 地域社会への貢献

5 各学部・委員会などの対応・動向

6 建物と地盤について

7 震災を振り返って

資料編

「駅舎高架化で街中に流れを」



被災とまちづくりによって高架化が必要とされるJR石巻駅



復興まちづくりのポイントについて語る大森さん
—石巻専修大

石巻専修大経営学部特命教授 大森信治郎さんに聞く

石巻市復興基本計画が策定され、2012年、復興まちづくりが動き出す。石巻市の玄関口・JR石巻駅は、市役所や観光案内所がある「石巻の顔」として復興への期待は大きい。東日本大震災では津波で敷地内水没し、都市機能が失われたところ、災害に強いまちづくりが求められている。同時に、仙石線の早期全線復旧などターミナルとしての機能回復も急務だ。駅前の復興は、震災で大きなダメージを受けたまちの再生のシンボルとなる。今後、石巻市や、地元産業者の動向が注目される。

「復興まちづくりのポイントは、駅前の位置付け。駅前は、まちの顔であり、まちの中心地である。駅前の復興は、まちの再生のシンボルとなる。今後、石巻市や、地元産業者の動向が注目される。」

「復興まちづくりのポイントは、駅前の位置付け。駅前は、まちの顔であり、まちの中心地である。駅前の復興は、まちの再生のシンボルとなる。今後、石巻市や、地元産業者の動向が注目される。」

【石巻かほく(平成24年1月3日)】掲載

石巻駅前復興再生シンボル

「復興まちづくりのポイントは、駅前の位置付け。駅前は、まちの顔であり、まちの中心地である。駅前の復興は、まちの再生のシンボルとなる。今後、石巻市や、地元産業者の動向が注目される。」

「復興まちづくりのポイントは、駅前の位置付け。駅前は、まちの顔であり、まちの中心地である。駅前の復興は、まちの再生のシンボルとなる。今後、石巻市や、地元産業者の動向が注目される。」

「復興まちづくりのポイントは、駅前の位置付け。駅前は、まちの顔であり、まちの中心地である。駅前の復興は、まちの再生のシンボルとなる。今後、石巻市や、地元産業者の動向が注目される。」

5年後の石巻は

世界の復興モデル都市

石巻復興プロジェクト実行委員会(会長・亀山雄一)は、5年後の石巻の復興をイメージした「5年後の石巻」をまとめた。復興まちづくりのポイントは、駅前の位置付け。駅前は、まちの顔であり、まちの中心地である。駅前の復興は、まちの再生のシンボルとなる。今後、石巻市や、地元産業者の動向が注目される。

協働プロジェクト協、事業検討 国の補正申請へ作業 復興まちづくりのポイントは、駅前の位置付け。駅前は、まちの顔であり、まちの中心地である。駅前の復興は、まちの再生のシンボルとなる。今後、石巻市や、地元産業者の動向が注目される。

頑張り石巻 復興まちづくりのポイントは、駅前の位置付け。駅前は、まちの顔であり、まちの中心地である。駅前の復興は、まちの再生のシンボルとなる。今後、石巻市や、地元産業者の動向が注目される。

【石巻かほく(平成24年1月10日)】掲載

「今後も復興手伝いたい」

津軽スコップ三味線世界大会
被災地を励ました
鈴木さん(石巻専大4年)が優勝



三味線に立つた大スコップ各隊が、大スコップ三味線世界大会(岩手県)で、石巻専大4年鈴木さんが優勝した。被災地の復興を支援する活動の一環として、鈴木さんは「復興スコップ」代表として出場し、再び被災地へ向けて活動する意気込みを語った。

5月、石巻市で開かれた三味線世界大会。鈴木さんは、石巻市出身で、石巻専大4年。被災地の復興を支援する活動の一環として、鈴木さんは「復興スコップ」代表として出場し、再び被災地へ向けて活動する意気込みを語った。

「被災地を励ました」という言葉が、鈴木さんの心を打った。被災地を励ましたという言葉が、鈴木さんの心を打った。被災地を励ましたという言葉が、鈴木さんの心を打った。被災地を励ましたという言葉が、鈴木さんの心を打った。

【石巻かほく(平成24年1月12日)】掲載

「なでしこ」元気がくれた
女子サッカー 子どもたちを指導
4選手訪問



試合形式のゲームで、シュートを披露する大野選手(中央) 石巻専大体育館

サッカーワールドカップで優勝した日本代表、大野選手(中央)が、石巻専大体育館で、女子サッカー子どもたちを指導した。大野選手は、石巻専大4年。被災地の復興を支援する活動の一環として、大野選手は「復興サッカー」代表として出場し、再び被災地へ向けて活動する意気込みを語った。

大野選手は、石巻専大4年。被災地の復興を支援する活動の一環として、大野選手は「復興サッカー」代表として出場し、再び被災地へ向けて活動する意気込みを語った。

【石巻かほく(平成24年1月12日)】掲載

